

1 2. 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

(1) 学生の修学に係る支援

1) 第1・2学年におけるサポーター制度の導入

第1学年入学時から同学年終了までの期間、6～8名の学生に対して1名のサポーター（臨床系若手教員）を配置し、就学中の勉学・生活両面のサポートを行って効果をあげている。このサポーター制度は平成21年度から導入され、学生のアンケート調査にみると大変好評であったことから平成22年度以降も継続している。

また、平成23年度からはこのサポーター制度を第2学年の留年生まで拡充し、学習支援に限定して実施している。

2) 保護者説明・懇談会の開催

保護者説明・懇談会について、歯学教育を取り巻く現状や歯科医師国家試験の状況等と、それらに対応すべく構築した本学の教育システムを保護者に説明し、「情報の共有化と学生支援の協力」を趣旨として毎年実施している。

本会は、4月下旬から6月初旬にかけて、第1学年、第2・3学年、第4・5学年、第6学年の4ブロックで実施し、第1学年については入学式後および前期試験終了後の2回開催する。

(2) 学生の進路選択に係る支援

学生の卒業後に関する進路選択については、歯科医師法が改正され平成18年度より歯科医師臨床研修制度が必修となったことから、卒後に研修を受ける指定病院等を決定するマッチングに関し、必ずマッチングが成立するよう教務部において学生指導を行っている。

また、本学新潟病院に在籍し1年間の臨床研修を修了した研修歯科医に対しては、教務部に送付された歯科医師求人申込書を研修歯科医の控室に開示し、さらに、大学院進学希望者に対しても教務部において説明し支援している。

なお、卒業前に本学を退学し進路変更を希望する学生についても、保護者共々面談し、意思確認をしたうえで必要な支援を行っている。

(3) 心身の健康等に係る支援

1) 定期健康診断および肝炎感染の予防対策等

大学院を含む全学年の学生を対象として、定期健康診断を6月上旬に実施する。その際、第1学年を対象にB型およびC型肝炎ウイルス抗体確認、4種（麻疹、風疹、水痘、ムンプス）抗体検査を行っており、B型陰性学生へのワクチン接種について、本学医科病院の協力を得て実施し、B・C型肝炎陽性反応者に対しては、医科病院内科教授より就学上の注意・指導を行うと共に、学生部に情報提供を行う。また、4種抗体陰性の学生には予防接種を推奨している。

2) その他健康相談等

学生部長、学生部副部長、各学年クラス主任・副主任を中心として、学生の教育や生活に付随する様々な問題について相談にのっている。また、学生部嘱託のカウンセラー（臨床心理士）を配置し、学生の精神的なカウンセリングを実施するとともに、学内相談員（2名の女性教員）にもセクハラ問題を中心に、随時、相談ができる体制を整えている。さらに、内科、外科、耳鼻科を中心に、本学医科病院の医師が学生の心身の健康相談に当たっている。